



7月18日、リコージャパンが日本政策投資銀行と共催した「脱炭素経営セミナー」の様子


「みやぎSDGs塾・実践コース」では毎回、すでに「標準コース」を修了した「みやぎSDGsアンパサダー」や、県内の企業・自治体等のSDGs関連業務の担当者などが集まり、それぞれの取り組みの情報を共有し、さらなる課題解決に向けてディスカッションしています。今回の「実践コース」でも活発な意見交換が行われました。

「企業の実践が変化をもたらす」リコージャパン宮城支社の国分千春さんは、同社と日本政策投資銀行との共催による「脱炭素経営セミナー」(7月18日開催)を紹介し、参加をよびかけました。また国分さんは、SDGs関連のセミナーなど同社がこれまで続けてきた取り組みについて、他の参加者に意見を求めました。参加者からは「セミナーで学んだ知識を得たことで、意識と行動の変化につながった」「リコージャパンの取り組み『ぶんぼうぐバンク』(使われていない文房具を集めて子ども食堂などに寄付する)を知って、自分も協力した」などの経験を次々に話しました。

「地域の貢献のアイデア探し」フクダ・アンド・パートナーズの阿部真美さんは、同社が設計に携わっている物流施設について紹介。仙台市の都市計画と地域別構想をベースとして、地域住民や地域防災に貢献できる物流施設作りを目指したいと話し、そのアイデアを募りました。子育て中の参加者から「雨天でも子どもが遊べる施設がほしい」などの意見が聞かれたほか、「キャンプ場やアウトドア施設を作って運営することで防災力の向上にもつながるのでは」など、防災機能を備えた同社のビル「仙台長町未来共創センター」などの関連を意識した案も出されました。

参加者の声 **各企業の意識を感じた**

自分が今まで思っていた以上に、SDGsを意識して取り組んでいる企業やお店が身近にあるのだと感じました。「SDGs塾」は、新たな視点に触れる機会になっています。



DNPコミュニケーションデザイン 阿部颯さん



フクダ・アンド・パートナーズが開発した防災型オフィスビル、「仙台長町未来共創センター」

みやぎSDGs塾って?

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンパサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!

みやぎSDGs Farm

賛同企業 募集中!!

公式HP  およろぐ お願いします

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

標準コース 自身・自社の現状を整理し、言葉で伝える

仲間の取り組みに関心

「みやぎSDGs塾・標準コース」は、5回の講座を通して学びと交流を深め、参加者一人一人が「みやぎSDGsアンパサダー」を目指すコースです。

この日の「標準コース」で参加者は、配布されたワークシートに、それぞれの所属企業のSDGs関連の実践、その発信の状況などを記入しました。さらに、3〜4人のグループに分かれ、自分が書いた内容を発表。どの参加者も他社の取り組みに関心を示し、積極的に質問するなど、活発な情報交換となりました。

荒町の生花店フラワー&グリーン・マルソの伊藤悠香さんは、販売・使用後に回収された花束や花輪の花を店頭において自由に持ち帰ってもらう当店の取り組みについて紹介。この取り組みによってロスフラワー(咲いているのに廃棄されてしまう生花)を減らすことができると話し、他の参加者の興味を強く引きました。

今回の「みやぎSDGs塾・標準コース」は参加者にとって、仲間との情報交換を通して自社の事業とSDGsとの関連を見直す機会になったようです。

「みやぎSDGs塾・標準コース」で、自社の取り組みについて伝え合う参加者

第3ターム

みやぎSDGs Farm

第27号

2024年8月3日(土)

発行:河北新報社営業局
特別協力:SDGsとうほく

対話を通じて学びを深める

6月21日、「みやぎSDGs塾」第3ターム後期・第2回の講座が河北新報社で実施され、参加者が仲間との交流を通じて学びを深めました。


情報共有と連携

自治体の取り組みに注目

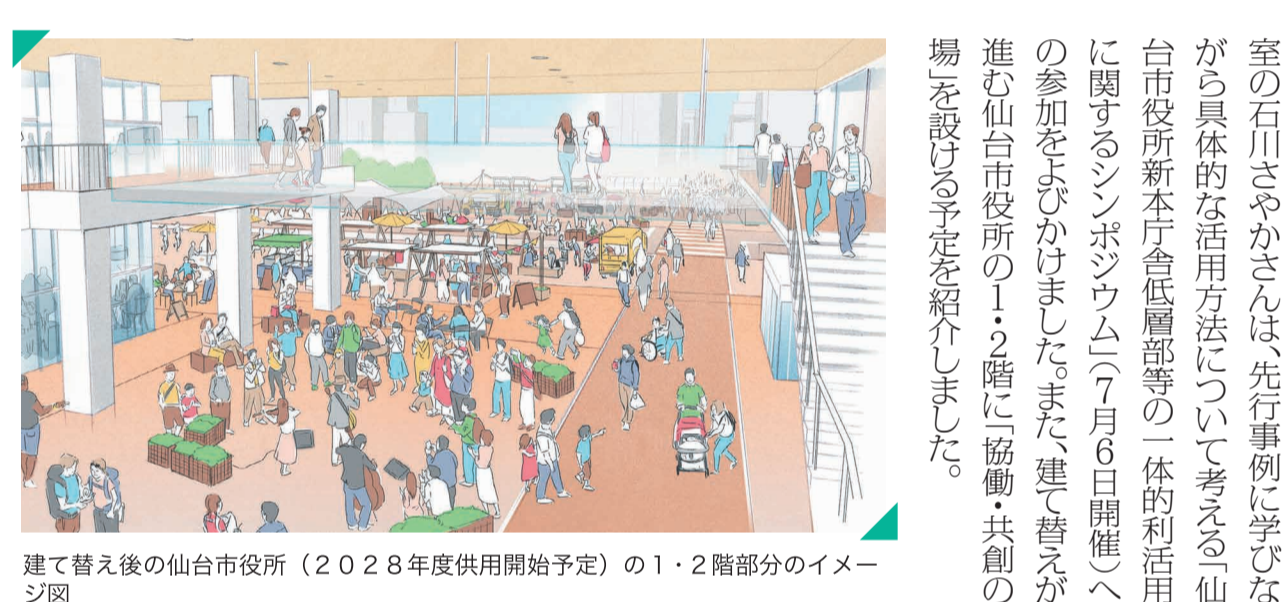
「みやぎSDGs塾・実践コース」には、宮城県や仙台市、その他県内の自治体の職員も参加しています。

宮城県企画部総合政策課の佐藤洋平さんは、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す県民会議「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050」について紹介しました。2023年に設立された組織で、企業・団体・個人が誰でも会員登録でき、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入を推進するものです。佐藤さんは会員向けのセミナーや見学会など、会員登録のメリットについても説明しました。

仙台市財政局本庁舎整備



みやぎゼロカーボンチャレンジ2050のイメージキャラクター



建て替え後の仙台市役所(2028年度供用開始予定)の1・2階部分のイメージ図

第3ターム参加者(敬称略)

[あすなろ学院] 齋藤学 [荒町商店街振興組合] 庄子康一、伊藤悠香、駿河真樹子 [YES工房] 大森丈広 [エントワデザイン] 佐藤寛和 [オフィス塩騒] 加藤貴伸 [環境再生保全機構] [高速] 高橋篤 [国分東北] 佐藤悟、種田友友 [スタイルズグループ] 千田佳子 [ソニーピープルソリューションズ/多賀城工場地帯連絡協議会] 大谷哲也 [タイハク] 長坂孝裕、南條世紀、玉川知樹、加賀玲 [竹鶏ファーム] 赤利利恵 [蜂屋食品] 蜂屋和彦 [大日本印刷] 阿部巧、小泉一也、矢島迅人、阿部颯、大沼真洋 [日建リース工業] 内藤健介 [日立ソリューションズ東日本] 小岩井尚文、大塚千翔 [フクダ・アンド・パートナーズ] 加藤祐、阿部真美 [松島蒲鉾本舗] 葛西健太郎 [宮城県民共済生活協同組合] 草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美 [ミライトス] 鈴木圭介 [山一地所] 原田千純、熊谷健太郎 [山大] 高橋拓宏、本郷友恵、三上明子 [WACO CREATE] 岩村和哉、岩村優香 [個人] 千葉よかこ [尚綱学院大学] 大沼晃太郎、猪野拓也、森啓輔 [宮城大学フードサービス論研究室] 斎藤真里奈、曾根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光 [オブザーバー] 紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

株式会社 日立ソリューションズ東日本

宮城県民共済

SUIKOO 大日本印刷

ERCA 環境再生保全機構

SHOKEI 尚綱学院大学

日本製紙株式会社

みやぎ生協

山一地所

yamadai

あすなろ学院

エントワデザイン

株式会社 高速

国分東北

STYLES GROUP

竹鶏ファーム

日建リース工業株式会社

蜂屋食品

F&P

松島

ミライトス株式会社

荒町商店街振興組合 YES工房 オフィス塩騒 多賀城工場地帯連絡協議会 WACO CREATE 千葉よかこ

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA東北 尚綱学院大学SDGsセンター 宮城大学フードサービス論研究室